

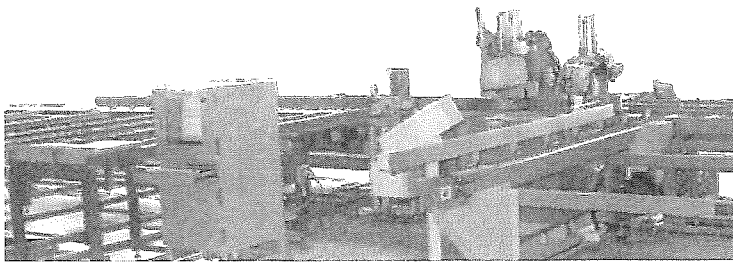
コンポーネント工場の作業負担軽減に

高速カット&壁上下墨付けライン1型を開発

目新興産

日新興産(東京都、原口博光社長)は、現在の2×4加工需要に対応した新商品として高速カット(202、412) & 壁上下墨付けライン1型を開発した。材の投入から搬出までワンマンコントロールで、作業ミスや無駄をなくすことができる。2×4コンポーネント工場にアピールしていく。

同機は高速カットでありながら、2×4(202) & 2×12(212)のランバーを2本重ねてカットでき、従来よりカット回数を減らせるため、省力化と生産効率向上を実現する。部材最適化



高速カット(202~412) & 壁上下枠墨付けライン1型。標準仕様で木口印字が可能

ソフトウェアを搭載し、供給チェーンスラッシュャーに1、2枚重を印字するほか、上面に合板位置や合板寸法も印字することで、パネル製造、組み立ての歩留まりが最も適になるようにカットする。下処理能力を高めるともにコンポーネント工場における作業負担の軽減を目指す。また、パネル組み立て時のミスが起きないように、今後遠隔地のメンテナンスも容易になり、コンポーネント工場の負担も軽減できると話す。

また、同社は現在、IoTやAI、ロボットなどを開発機に積極的に取り入れている。また、IoTとしてユーザがリアルタイムで生産把握や機動的な工程管理ができるリアルタイムリリースなどの機能を持たせた。